



くつろぎと学びの場としての図書館をめざして模様がえ！！

1月30日から8日間実施された蔵書点検作業では、利用者の皆様に大変不自由をおかけしました。お蔭様で滞りなく点検・書棚の配置変え等を終え、利用者の皆様のニーズに応えるフロア空間となっております。

又、絵本コーナーに児童用の学習机、一般図書コーナーに中高生用の学習机を増設しました。



平成 24 年度蔵書冊数 58,562 冊 (H.25.2.9 現在)

<最新情報源として新聞・雑誌の紹介>

新聞 8紙

- 朝日新聞 ○ 読売新聞 ○ 毎日新聞 ○ 日本経済新聞
○ 奄美新聞 ○ 南海日日新聞 ○ 南日本新聞 ○ 日本農業新聞

雑誌 26誌

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ☆LEAP (リープ) | ★すてきにパドメイド |
| ★特選街 | ☆BRUTUS (ブルタス) |
| ★趣味の園芸 | ★セブンティーン |
| ☆アスキー・PC | ★nonno (ノンノ) |
| ★きょうの料理 | ☆Sports Graphic Number |
| ★きょうの健康 | ★クロワッサン |
| ☆Newton (ニュートン) | ★サンキュ! |
| ★週刊文春 | ☆磯釣りスペシャル |
| ★婦人公論 | ★すてきな奥さん |
| ☆CD&DL で一た | ★ゆうゆう |
| ★暮らしの手帳 | ☆ar (アール) |
| ★いぬのきもち | ★文芸春秋 |
| ☆奄美の情熱情報誌ホライズン | ★家の光 |

他に「るるぶ情報版・まっぷるマガジン」等の旅行情報誌も揃えています。

※ 仕事帰り・お買い物帰り等に気楽にお立ち寄り下さい。

第148回 【芥川賞・直木賞】

○ 芥川賞・黒田夏子さん (75 歳) 『ab さんご』
「ずっと書き続けていると誰かがみつけてくれるものなんですね」テレビでのコメントが印象的。筆暦 70 年/東京生まれ
早稲田大学国語国文学科卒。

○ 直木賞・朝井リョウさん (23 歳) 最年少受賞/早稲田大卒
『何者』は、「現代をとらえた斬新な青春小説」,

○ 直木賞・安部龍太郎さん (57 歳) 『等伯』は、「綿密な調査で土台を作り、読みどころもある」と評価されました。



<2月の人> 手塚 治虫 (1928.11.3~1989.2.9)

大阪府豊中市に生まれる。昆虫と漫画を愛する、想像力豊かな少年だった。医学を学ぶが、漫画家の道を選び、雑誌に「ジャングル大帝」「リボンの騎士」等を次々発表していく。1962 年、日本初のテレビ用アニメ「鉄腕アトム」を制作。既成の概念をうちやぶる彼の作品が与えた影響は計り知れない。(喜図書蔵作品) ブラックジャック・火の鳥・ブンダ・どろろ・初期傑作集(ロストワールド・メトロポリス)等

※ 返却された図書の中に個人所有と思われる本が誤って返却されています。心当たりのある方はカウンターまでお申し出下さい。

住民一人当たりの図書購入費の高い市町村

(鹿児島県の公共図書館 平成 24 年度版より)

1	湧水町	621.4 円
2	南九州市	602.4 円
3	和泊町	405.8 円
④	喜界町	294.9 円
5	大和村	294.1 円
6	志布志町	263.1 円
7	南大隅町	200.0 円
8	天城町	187.5 円

※私たちが喜界町に教育・文化に対する期待度が高い。

<3月のミニ映画予定>



- 2日 ひなまつり
9日 二匹の猫と元気な家族
16日 命の水
23日 うぐいす姫
30日 おはようの一言で

○ お話し会 毎週土曜日午後2時から

読書ボランティアによる読み聞かせミニ映画の上映があります。
遊びに来て下さいね。

図書館カレンダー (3月)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

* は、休館日です

- ・開館時間 午前 10 : 00 ~ 午後 6 : 00
- ・休館日 月曜日, 毎月第 1 木曜日,

《趣味と読書》～ マラソン ～

今、第2次マラソンブームだそうです。2010年のランニング人口は883万人（江上剛『55歳からのフルマラソン』新潮新書、2012年）。去年の第6回東京マラソンは、定員35,500人に対し応募者が約28万人（倍率9.6倍）！東京マラソンを走ることは「市民ランナーの夢」と言われます。（沿道の観衆が約170万人）その市民ランナーの星は川内優輝選手。

「3日の別府大分毎日マラソンは、久々に見応えのあるレースだった。公務員で『史上最強の市民ランナー』の異名で知られる川内優輝選手が、ロンドン五輪男子マラソンで6位入賞の中本健太郎選手を振り切り、大会新記録で初優勝。……川内選手は立て続けにレースに出場する調整法で注目されている。1月18日にエジプトの大会で優勝したばかりで、2週間後の今大会でも見事な走りを見せてくれた。大ファンの私は昼食ものどを通らず、テレビの前にくぎ付けになった。……」（無職 森 昌弘（80）福岡市東区／2月9日付け毎日新聞「みんなの広場」より）

有名な市民ランナーは他にもいます。「ノーベル医学生理学賞に決まった山中伸弥・京都大教授（50）と文学賞の有力候補と目された作家の村上春樹氏（63）に共通するのは、趣味のランニングだ。長い研究や小説執筆という重圧のある仕事を、走ることが支えていることに共感した市民ランナーも多いのではないかな。ここ数年のマラソンブームも、不況下の厳しい労働環境が背景にあるようだ。」（2012年10月27日付け南日本新聞）

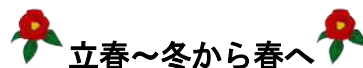
山中教授は去年3月、第1回京都マラソンを走り（タイム：4時間3分19秒）、インターネットの寄附サイトで完走宣言をして研究費を1千万円以上集めています。日本経済新聞（2012年10月9日）には、「（山中教授は）多忙を極めるなか、大学近くの鴨川沿いのランニングをほぼ毎日欠かさない。研究所内では2段飛ばしで階段をかけ上がる。世界中のライバルと戦う体を鍛えている。」と載っています。

村上春樹氏は著書『走ることについて語るときに僕の語ること』（2007年、文藝春秋）によると、1982年秋（33歳）に走り始め、アテネ、ニューヨーク、ボストン等世界のマラソンやウルトラマラソン（100キロ）・トライアスロンも走っています。（蛇足：私も43歳から走っています。）喜界町図書館にはマ

ラソン関係の図書がたくさんあります。読んでみてください。楽しいですよ。

（文責・積山泰夫）

←マラソン関係の本



立春～冬から春へ

本格的な春の兆しを敏感にとらえ、やがて来る『春』を喜びの心でまちわびる気持が『立春』ということばから感じとれます。今年は日本復帰60周年です。図書館でも特設コーナーを設ける予定です。当時の貴重な写真や情報をお持ちの方は、図書館までご連絡いただけないでしょうか。



【新着図書】

【おとなの本】

- 三匹のかいじゅう 椎名 誠 著 集英社
信長影絵 津本 陽 著 文藝春秋
孤独な放火魔 夏樹 静子 著 文藝春秋
シルバー川柳 一笑いあり、しみじみありー
与論島の古文書を読む 先田 光演 著 南方新社
ビブリア書店の事件帖 1～3 三上 延 著
人生案内ピンチをのりきる変化球 野村 総一郎 著



【子どもの本】

- おひなさまのいえ 吉田朋子 絵 鈴木出版
ミヤマ物語 第3部 偽りの支配者 あさの あつこ 著
道はみんなのもの モニカ・ドベルド 絵
ねこのたからさがし さえぐさ ひろこ 絵
工場見学！学校にあるもの -身近なものができるまで
チョコレート屋のねこ アン・モーティマー 絵

